

■■ 2003年 第2回沢山行 ■■

逆^{さかさ}川^{がわ}遡行

(1) 期 間 2003年9月28日(日)

(2) メンバー 1年：2名
 OB：1名
 顧問：1名

(3) 行 動

9月28日【天候：曇り時々晴れ】

立川=<JR>=奥多摩 =<タクシー>= 川乗橋 -(0.30)- 川苔谷底(入渓点) -(0.10)- 逆川出合
7:05 8:23/8:50 9:00/9:05 9:35/10:00 10:10
-(1.55*①)- 大ダワ沢出合 -(0.40)- 10mの大滝 -(0.30)- 10mの大滝の上(ウスバ林道)
 12:35 13:15 13:45/14:50
-(1.15*②)- 鳩ノ巣(解散)
 16:30 [歩行 5.00]

*①: Rest 10:50~11:10

Rest 12:10~12:30 大ダワ沢出合の少し下流で

*②: Rest 15:40~16:05 大根ノ山ノ神

■山行メモ■

8月25日の水ノ木沢遡行に続いて、今年2回目の沢登りを行った。逆川はポピュラーな沢登りコースだが、前回の水ノ木沢よりも滝の直登や高巻きのレベルは上がり、沢登りらしい山行ができた。ウスバ林道下の10mの大滝ではロープを使った直登も経験できた。

今後の課題としては、次のようなことが挙げられる。

①滝の高巻きは、直登よりも危険性が高い場合があることを銘記する。

②滝の直登などで、わらじ(あるいは溪流足袋)のフリクションをうまく使えるようになる。

- ③直登では、岩にへばりつく体勢を取らない、手足を伸ばしきった姿勢にならない、そのためには細かなホールドを拾って登り、手足を大きな幅で移動させないようにする。
- ④ロープを使った直登の後などで、気が緩み、油断が生じ、無意識に危険な行動を取ってしまうことがあるので、注意する。

ともあれ、晴天に恵まれ、楽しい山行ができた。

沢登りは、危険を回避できる技術と経験があれば、変化に富んだ楽しい山行ができる。